

3. 検討対象区域の設定

3-1. 設定方針

検討対象区域は土地利用の状況等を踏まえ、浸水被害の発生状況や浸水リスク、資産・人口等の集積状況等を勘案し設定する。また、雨水公共下水道は浸水被害の軽減を図るべき地域において実施するものなので、基本的には市街地を対象とし、山林等は対象外とする。以上より、区域設定の基準は以下のとおりとした。

- ・市街化区域である
- ・人口・資産（家屋、事業所）等が集中している
- ・浸水被害実績がある

3-2. 設定結果

市街化区域と下水道整備区域が概ね一致していること、雨水公共下水道の整備効果が高いことから、検討対象区域は下水道整備計画区域を基本とした。都市計画区域界を図 3-2 に、人口・家屋の集積状況を図 3-3、図 3-4 に、浸水実績を図 3-5 に示す。

浸水実績は南の排水区の大淀川沿いに集中しているが、人口・家屋の集積状況はどの排水区においても密度が高く、大きな差は見られない。人口・資産が集中している排水区は整備効果が大きいものとし、検討対象区域は下水道整備区域と同じ 21 排水区とする。

表 3-1 排水区別該当箇所の表示

排水区	人口密度 人/メッシュ	世帯密度 世帯/メッシュ	用途地域	浸水実績	検討対象 区域
ひらはし	31	15	有	有	○
年見	34	17	有	有	○
沼川	29	14	有	有	○
郡元	28	12	有		○
祝吉	30	13	有	有	○
姫城	38	17	有	有	○
五十市	29	12	有	有	○
岳之下	34	15	有	有	○
鷹尾	37	15	有	有	○
志比田	22	9	有	有	○
沖水	21	9	有		○
高木	15	7	有		○
旭	13	6	有		○
横松	13	5	有		○
花木	14	5	有		○
高城	12	5	有		○
穂満坊	19	8	有		○
軍人原	52	21	有		○
谷頭	18	8	有		○
新田西	19	7	有		○
新田東	13	5	有		○

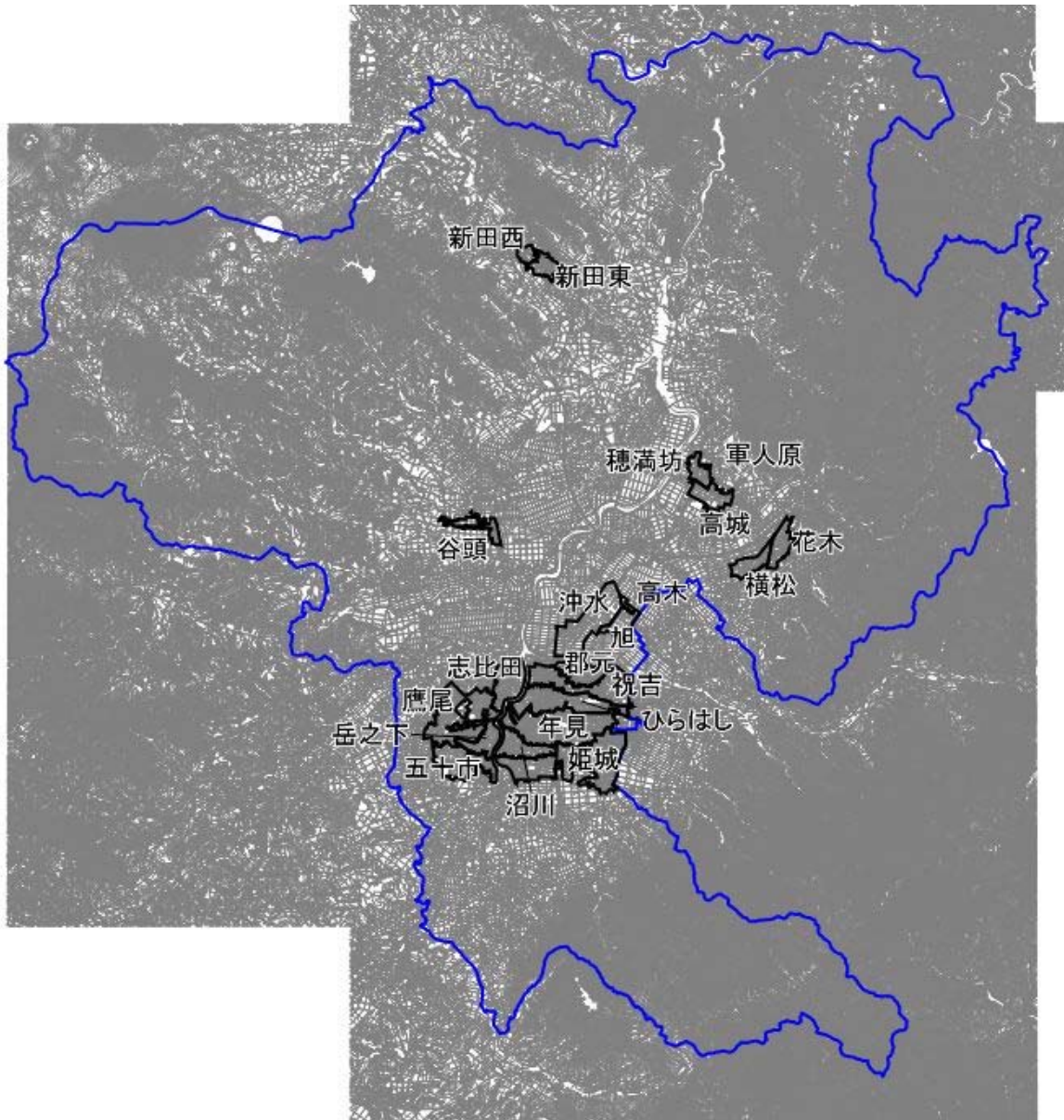


図 3-1 雨水全体計画区域 (= 検討対象区域)

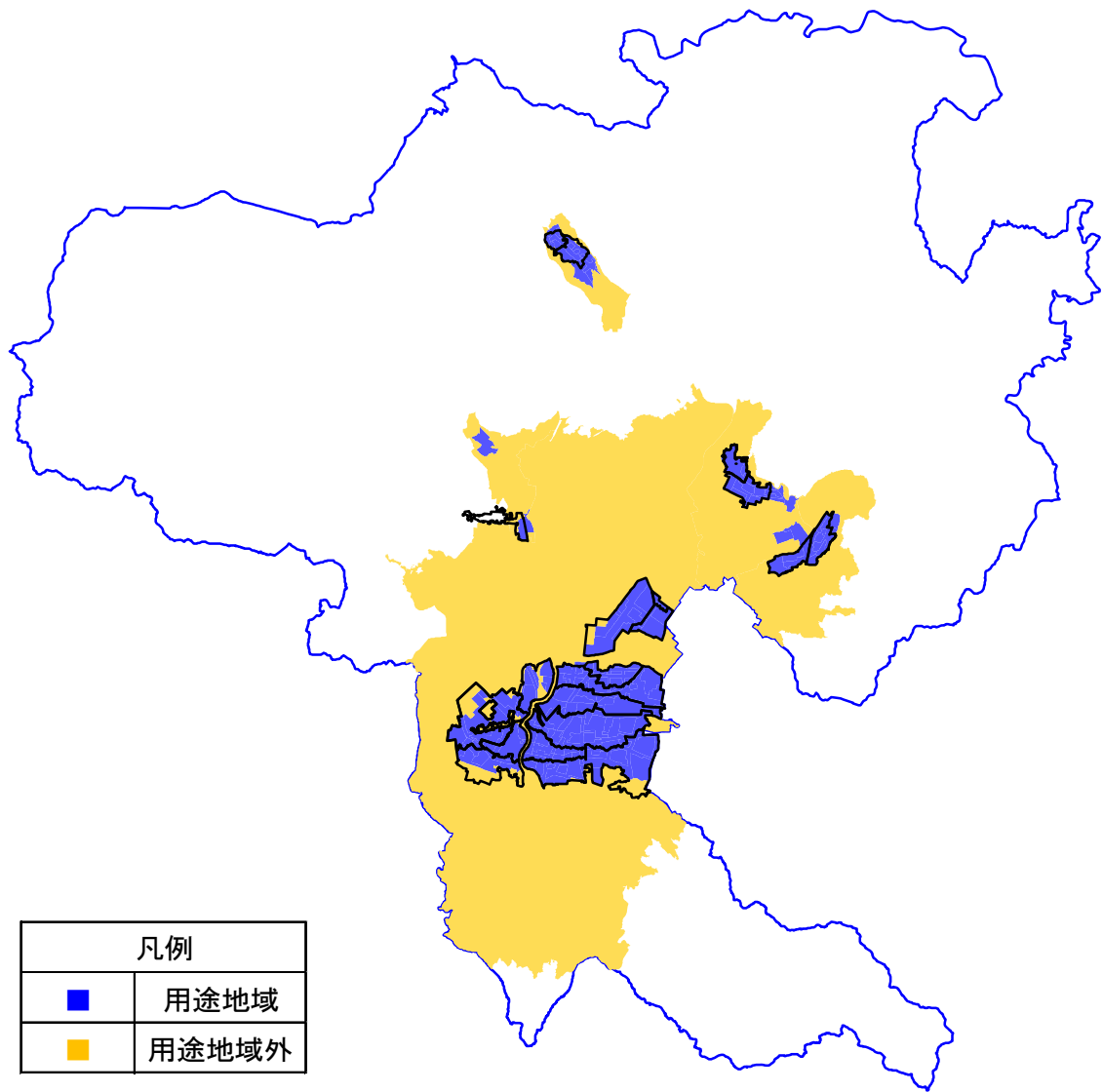


图 3-2 都市計画区域

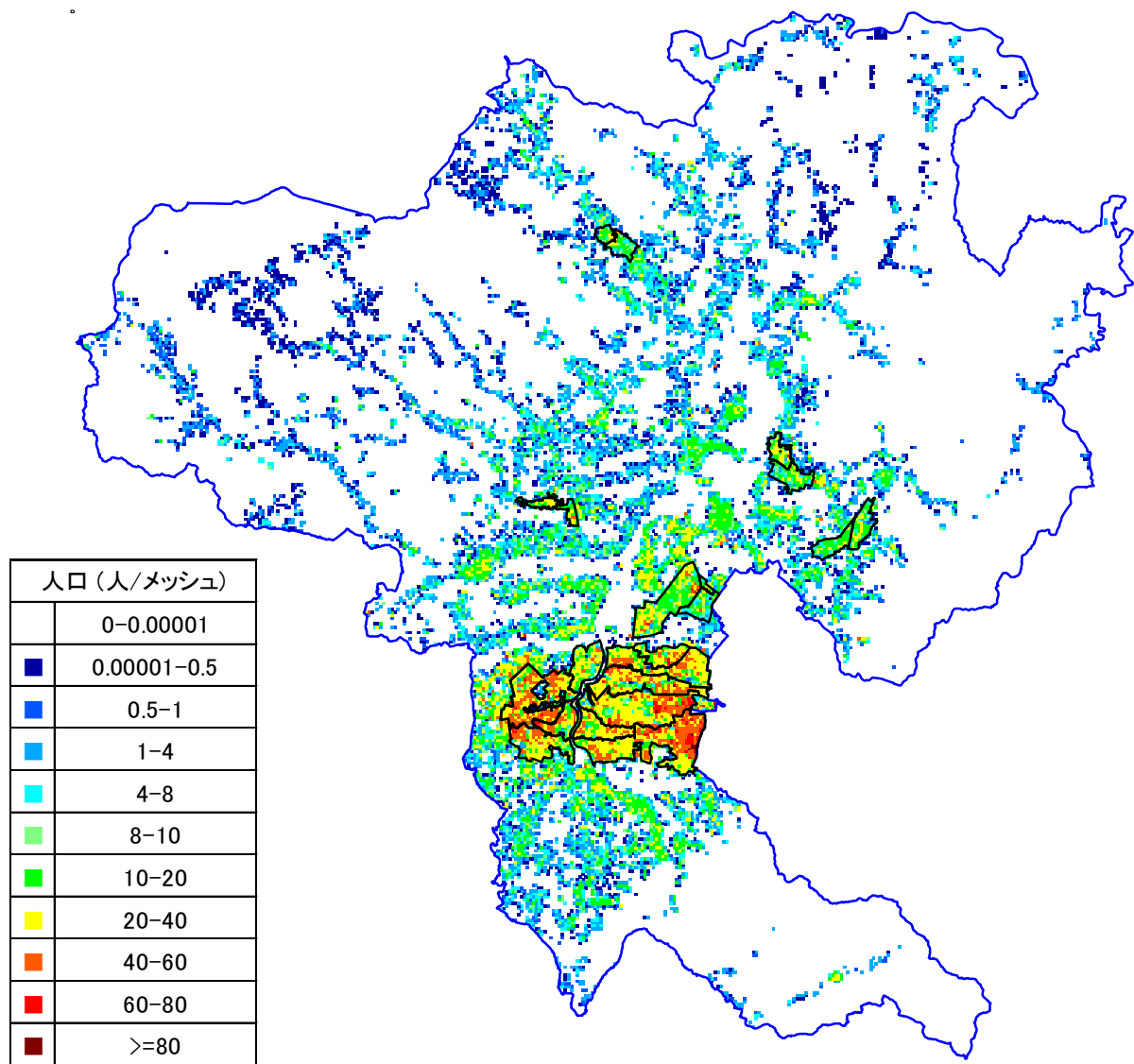


図 3-3 人口 (国勢調査 2015 年)

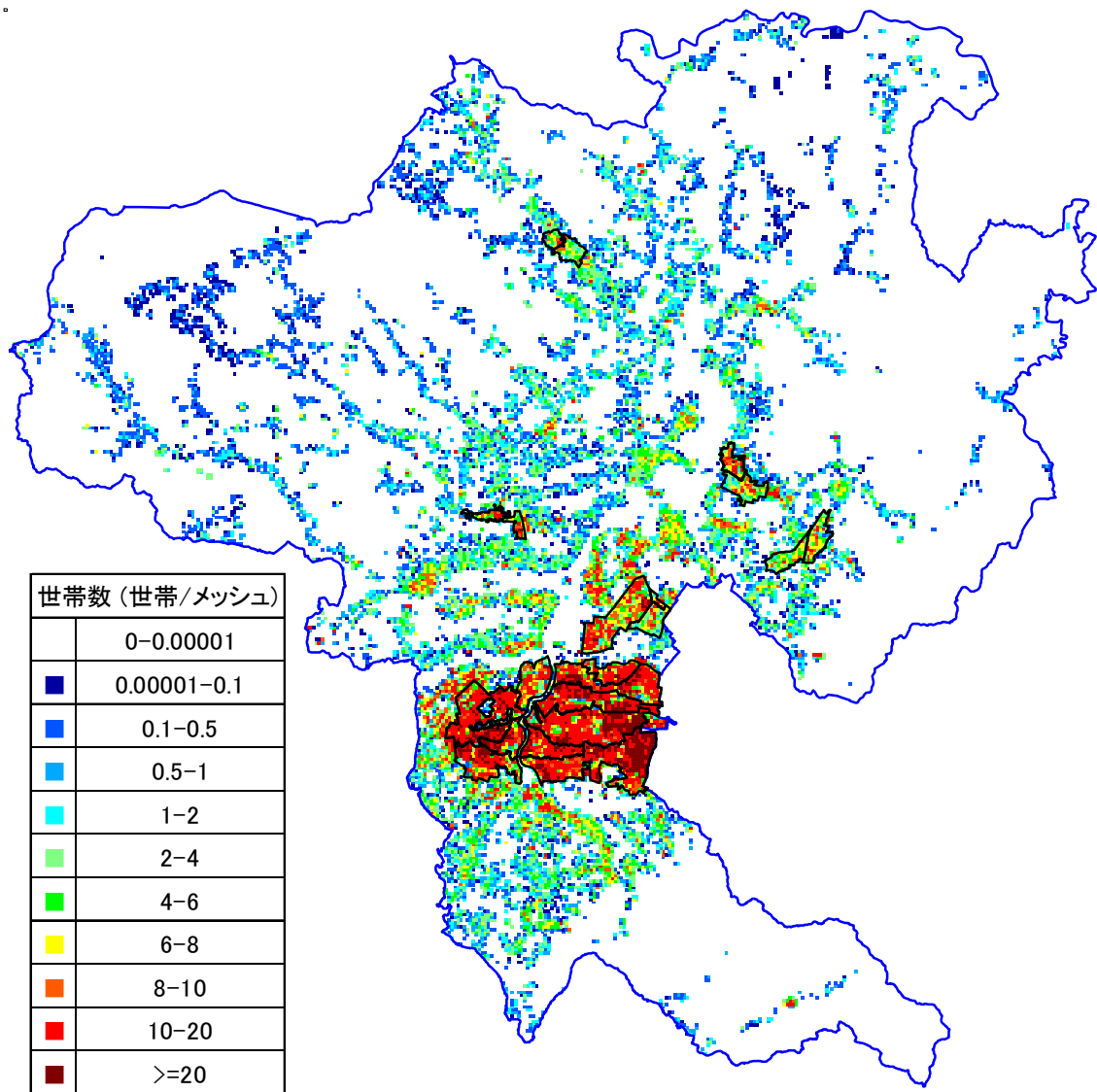


図 3-4 世帯数 (国勢調査 2015 年)

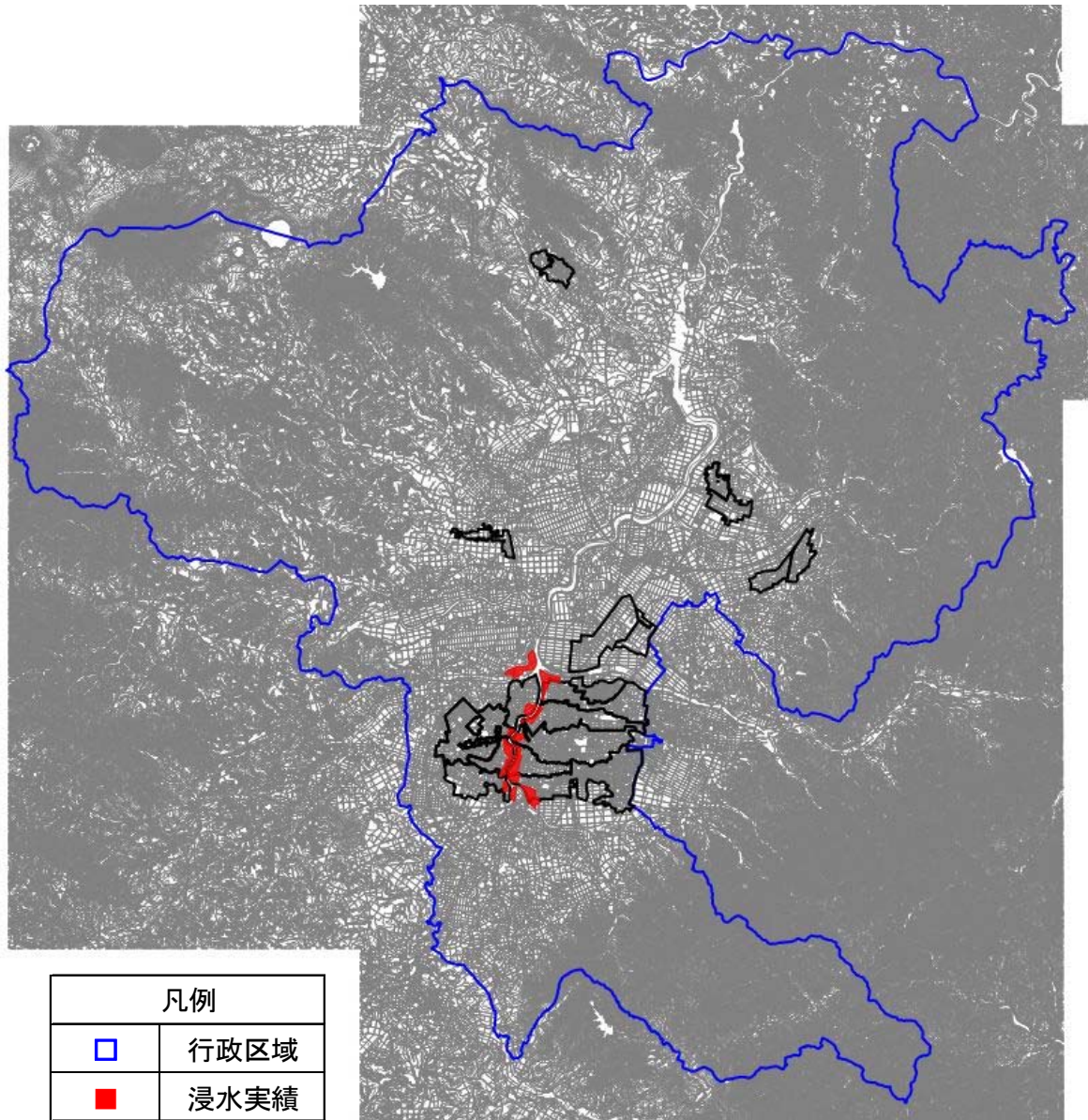


図 3-5 浸水実績